ACCESS
日本アクセス
ロジスティクス企画部

入荷業務の平準化による
メーカー様納品車輌低減
と待機時間削減について

1．入荷曜日の削減

ACCESS 日本アクセス

特定Ｓ拠点で実施

『入荷曜日１日削減』の取組みについて

問題点　入荷頻度が細かく、入荷検品・格納作業が非効率となっている。

物流パートナー

１週間に何回も同じ商品が入荷されている。
入荷物量はある程度増えても良いので、頻度を減らして欲しい・・・

商品	商品名１	ランク	入荷バラ数量						月間入荷回数
			月	7月4日	7月5	7月6日		7月8日	
5252671		B							17
231925		B							14
727420		B						72	13
6005232		C		15		15		16	14

同じ商品が分割されて入荷している！！！

➢ 物流パートナー・発注担当者でミーティングを実施

物流パートナー

入荷曜日を1日削減してもらえると非常に助かるのですが・・・

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018　All Rights Reserved.

1．入荷曜日の削減

ACCESS 日本アクセス

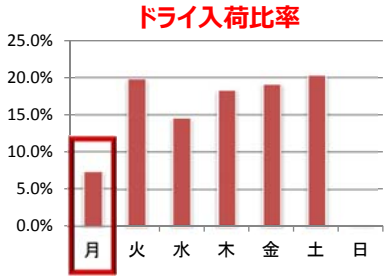
改善取組み

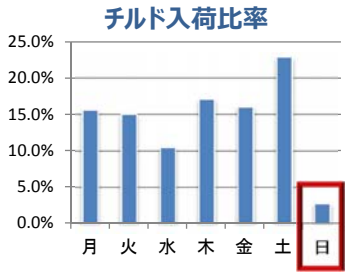
入荷曜日１日削減に取組みましょう！

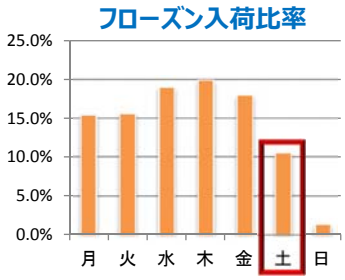
対象曜日選定：生産性管理システムを使って曜日別入荷比率を検証

発注担当

➢ １週間の中で入荷物量の少ない曜日を「入荷休み」に設定







ドライ＝月曜日、チルド＝日曜日、フローズン＝土曜日　をそれぞれ入荷休みに

いざ、入荷休み開始！

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018　All Rights Reserved.

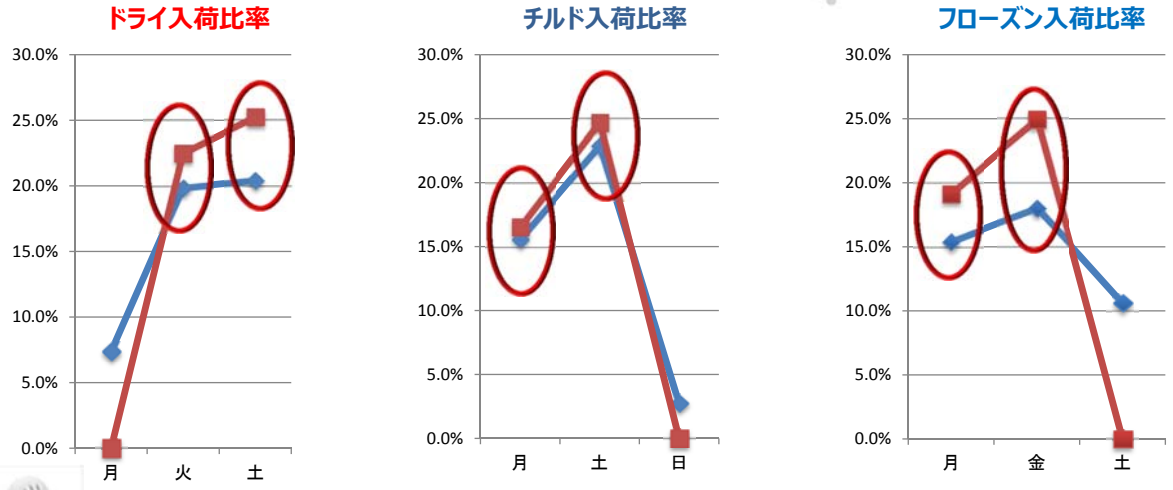
1．入荷曜日の削減

ACCESS 日本アクセス

ちょっと待てよ。
このままでは前後の曜日の入荷物量が増えてしまうのでは？

発注支援・生産性管理ツールを使ったシミュレーション

◆ 現状　■ シミュレーション



発注担当

メーカー別の入荷曜日を見直さなければ入荷が間に合わない！

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

1．入荷曜日の削減

ACCESS 日本アクセス

発注支援ツールの仕入先設定を再度見直し！

➢ **メーカー毎の入荷曜日を温度帯別に発注担当者間で調整**

■ドライ事例

仕入先CD	仕入先名称	月	火	水	木	金	土	入荷回数
1100000	[illegible]	●		●		●		3回
50000	[illegible]		●		●	●		3回
946000	[illegible]	●	●		●			3回
1773000	[illegible]		●		●		●	3回
4815005	[illegible]			●		●		2回
4815000	[illegible]		●		●		●	3回
1302000	[illegible]	●	●		●			3回

入荷休み

月	火	水	木	金	土	入荷回数
	●		●			2回
●					●	2回
	●		●			2回
●		●			●	3回
	●		●			2回
●		●			●	3回
	●		●			2回

発注担当

発注支援ツールの登録準備完了！

改めて、入荷休み開始！

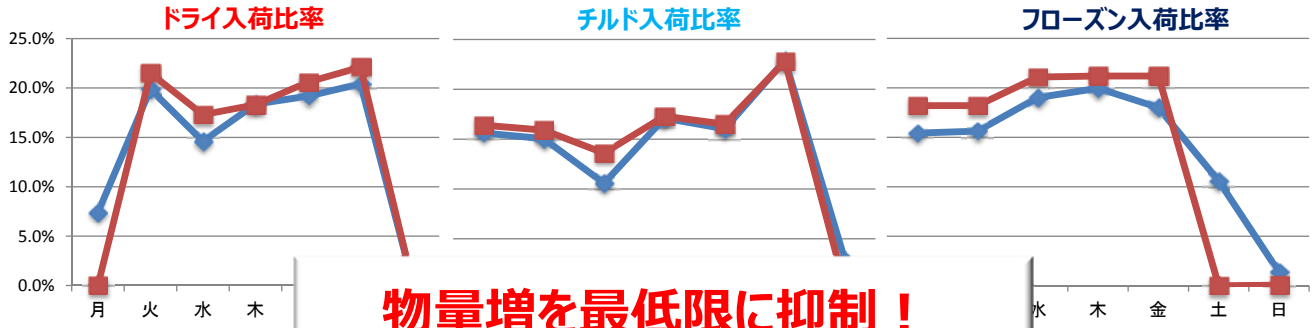
Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

1．入荷曜日の削減

ACCESS 日本アクセス

■改善効果

左＝実施前　右＝実施後



物量増を最低限に抑制！

ドライ（8月～）	▲20.0人時／日	▲[illegible]
チルド（5月～）	▲9.0人時／日	▲[illegible]
フローズン（11月～）	▲20.0人時／日	▲86.0人時／日

全社への水平展開！

メーカー様の入荷車輌低減および待機時間削減に繋がります！！

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

特定Ｇ拠点で実施

物流現場の声をヒアリング

問題点の発覚！

課題①
１６ケース廻し商品なのに
２０ケースで入荷されている商品

課題②
昨日入荷した商品が今日も入荷している。纏めて仕入れるべきでは？

課題③
曜日によって入荷数量の波動が大きい為
平準化して作業人時が出来ないか

課題④
遅延便による午後入荷が常態化している

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

課題①

効果

物流
パートナー

商品格納時、端数分の積み替え作業がなくなって作業効率がアップしました

入荷時に廻し数が揃っているので数え誤りが減りました

積付け数を登録したことにより、発注数の見直しをする時間の短縮につながった

発注担当

取組み前

取組み後

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

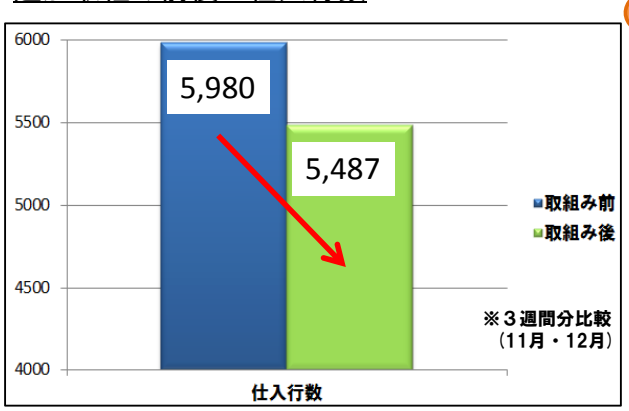
ACCESS 日本アクセス

取組み

ドライA・Bランク商品は1パレット単位の登録に変更！！
仕入行数を削減し、庫内のタッチ回数削減を図る！！

◆G物流センター（家庭用ドライ）

追加取組み前後の仕入行数

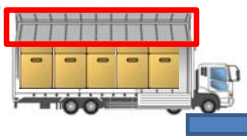


仕入行数が減ったことにより鮮度割れ商品も減少に！

発注担当

仕入れ行数は大きく削減へと繋がった！！

改善前



改善後

メーカー様の納品時１車両あたりの商品積載率も向上！！

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

◆連続入荷の抑制

課題②

物流
パートナー

昨日入荷した商品が今日も入荷している。
まとめて１日で仕入してほしい

＜例＞

10/1　A商品入荷

10/2　A商品入荷

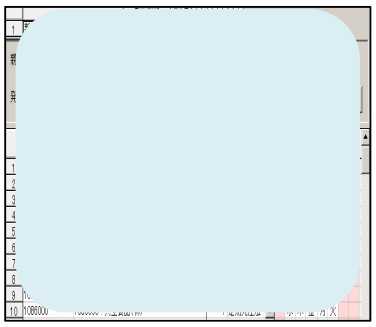
2日続けて同一商品の入荷が発生！！
格納も2回！

対策

【発注支援ツール】の仕入曜日変更を実施！！

毎日発注可能設定から週３回等（月・水・金）発注曜日の削減を行い、連続入荷を抑制する！！

仕入先設定画面



Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018　All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

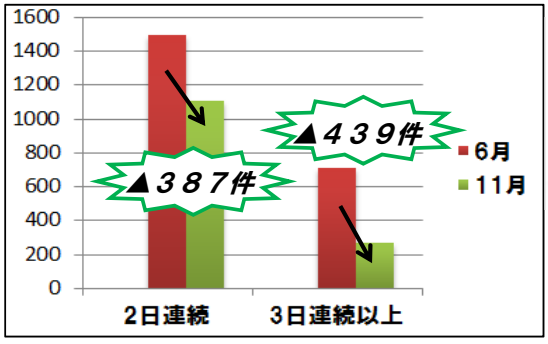
結果

①仕入設定曜日変更メーカー数

	定番発注	仕入設定曜日登録有(週3回等)				比較	
	全メーカー数	6月		11月			
		メーカー数	登録率	メーカー数	登録率	メーカー数	登録率
	616	392	64%	531	86%	+139	+22p
	446	364	82%	422	95%	+58	+13p

≪仕入設定曜日変更メーカー数≫
Gセンター：＋139メーカー（＋22p）
Uセンター：＋58メーカー（＋13p）

②連続入荷件数（G物流センタ３部門）



連続入荷件数は大きく削減

発注担当

物流
パートナー

連続入荷商品が減少し、
作業効率があがった！

メーカー様の入荷車輌低減に効果！！

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018　All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

◆入荷波動の平準化

課題③

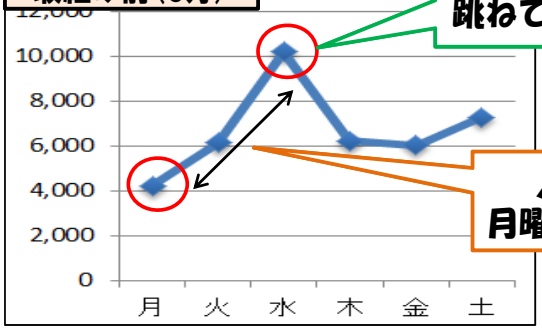
庫内担当

曜日によって入荷数量の波動が大きい為、
業務量に応じた人員配置が難しい

物量が多い日は午前中で入庫完了せず、
午後まで時間が掛かってしまっている

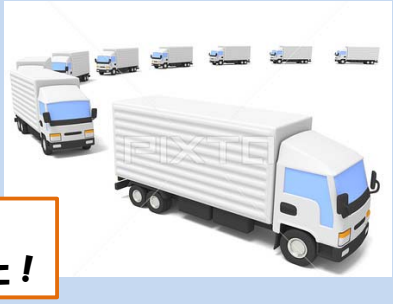
◆G物流センタ（家庭用ドライ）

取組み前（6月）



水曜日が極端に
跳ねてしまっている！

入荷物量は最少の
月曜日に比べ２倍以上！



入荷物量が多く、渋滞の原因にも・・・

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

対策

【発注支援ツール】の仕入設定曜日の変更を実施！！

発注担当

過去の入荷実績を基に波動特徴を確認し、
平準化になるよう主要メーカーの仕入設定曜日の変更を行う！！

水曜日の入荷を抑制するために

水曜日入荷をなしに！

入荷物量上位８メーカーの変更実施！

取組み前

仕入先コード	仕入先名称	入荷曜日設定					
		月	火	水	木	金	土
1485		○	○	○		○	
1450		○		○		○	○
58441		○		○		○	
1215		○		○		○	○
73720		○		○		○	
75814		○		○		○	
4815		○		○		○	○
59102		○		○		○	

取組み後

入荷曜日設定					
月	火	水	木	金	土
	●		●		●
	●		●		●
	●		●		●
	●		●		●
	●		●		●
	●		●		●
	●		●		●
	●		●		●

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

課題④　結果

（1）曜日別入荷数量

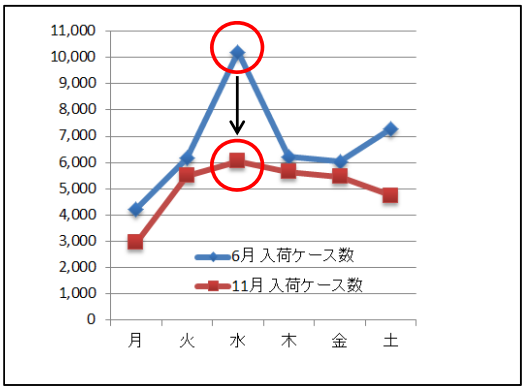
対象月	項目	月	火	水	木	金	土	全曜日平均
6月	入荷ケース数	4,223	6,157	10,196	6,226	6,029	7,281	6,685
	比率	63%	92%	153%	93%	90%	109%	100%
11月	入荷ケース数	2,951	5,500	6,055	5,644	5,454	4,751	5,059
	比率	58%	109%	120%	112%	108%	94%	100%

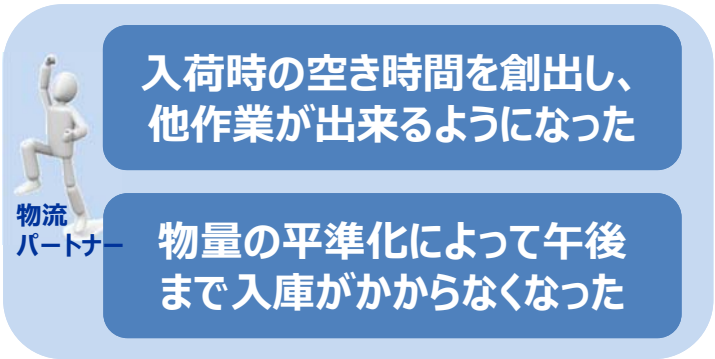
※平準化目標数値
80%～120%以内と設定する

水曜日の入荷量削減に成功！

月曜日は変わらず少ないが、
火～土は目標数値内に抑え
平準化へ！！

（2）入荷数量グラフ





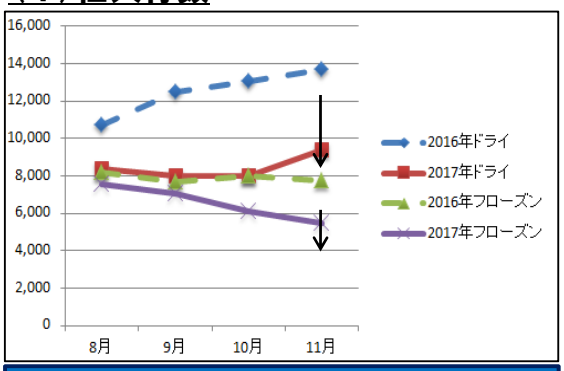
Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

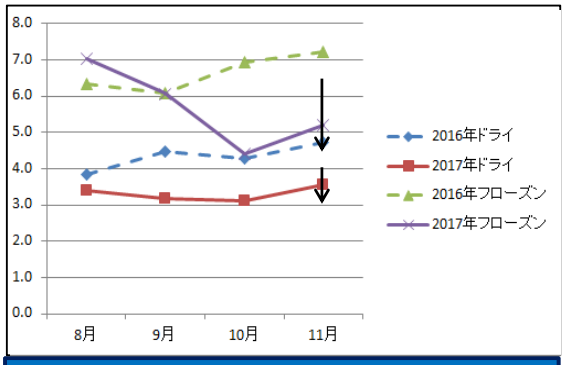
◆仕入行数・平均発注回数について

（1）仕入行数



〈昨年度比較〉８月～１１月平均
ドライ：▲4,０４９行削減
フローズン：▲1,３５７行削減

（2）平均発注回数（仕入行数÷仕入アイテム数）



〈昨年度比較〉８月～１１月平均
ドライ：▲１.０回削減
フローズン：▲１.０回削減

※在庫日数も基準値内へ〈ドライ〉6月～11月平均　10．3日

昨年度と比較して仕入行数、平均発注回数共に削減がはかれている。
また現場の入荷・格納におけるタッチ回数は減少し、作業効率向上！

メーカー様の入荷車輌低減および待機時間削減に繋がります！！

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

2．入荷物量の平準化

ACCESS 日本アクセス

◆定量効果について

≪G物流ｾﾝﾀ≫入荷・格納人時数比較（１週間平均）

単位：人時数

	ドライ						チルド						フローズン					
	6月		11月		比較		6月		11月		比較		6月		11月		比較	
曜日	入荷	格納	入荷	格納	入荷	格納	入荷	格納	入荷	格納	入荷	格納	入荷	格納	入荷	格納	入荷	格納
月	21	22	18	20	▲3	▲2	13	14	13	15	0	+1	12	13	11	12	▲1	▲1
火	16	18	14	16	▲2	▲2	12	12	12	13	0	+1	13	15	10	12	▲3	▲3
水	18	19	15	18	▲3	▲1	9	10	10	11	1	+1	11	13	10	11	▲1	▲2
木	17	18	15	16	▲2	▲2	13	13	11	13	▲2	0	12	14	10	10	▲2	▲4
金	18	21	15	19	▲3	▲2	13	14	12	14	▲1	0	12	13	10	11	▲2	▲2
土	17	18	15	16	▲2	▲2	13	14	12	14	▲1	0	12	13	10	11	▲2	▲2
計	107	116	92	[illegible]	▲15	▲[illegible]	73	[illegible]	70	80	▲3	+3	72	81	61	67	▲11	▲14

１週間

〈ドライ〉
▲２６人時

全社への水平展開！

〈フローズン〉
▲２５人時

結果

〈G物流ｾﾝﾀ３部門計〉
１週間：▲５１人時
１ヶ月：▲２０４人時

メーカー様の入荷車輌低減および待機時間削減を繋がります！！

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.

3．今後の対応について

ACCESS 日本アクセス

現状と今後の対応

運送事業に関わる環境の変化や待機時間問題に対する今後の対応

メーカー様からの入荷便に対する管理強化が不可欠

・実績管理や可視化を行い、入荷業務の改善や待機時間削減に向けての取組みが重要
・メーカーからの追加料金発生を防ぐ事で、仕入条件への影響を回避。

各センターの入荷便　現状の管理方法

・現在各センターでの入荷待機車輌管理は、納入ドライバーが自ら記入する入荷受付簿でのアナログ管理。
・実態をデータで収集し、入荷受付から退出までの状況把握や車輌の待機状況の把握、分析をする事が不可能。

物流を取り巻く環境の変化や現状のアナログ管理への対応として、入荷管理システムを導入し、更なる業務改善との車輌待機時間改善

Copyright（C） NIPPON ACCESS, INC.2018 All Rights Reserved.